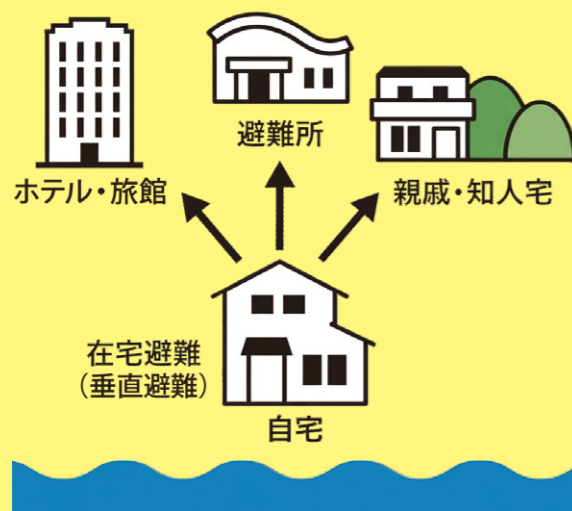


「避難」とは「難」を避けること  
避難所以外にも避難先の選択肢があります



今すぐ始めよう  
行動に合わせたモノの備え

在宅避難のための備え

大規模災害時は電気や水道、ガスなどのライフラインの利用が困難になるだけでなく、食料品や生活必需品を確保することが難しくなるため、1週間分の備蓄品(最低でも3日分)を準備しておきましょう。

- 飲料水  非常食  ウェットティッシュ
- 体拭きウェットタオル  モバイルバッテリー(充電器)
- LEDランタン  ポリ袋  ラップ  新聞紙  生理用品
- カセットコンロ・ボンベ  携帯トイレ

乳児がいる場合

- 粉ミルク・液体ミルク  哺乳瓶  紙おむつ など

ペットがいる場合

- ペットフード  トイレ用品 など

避難所などへ避難するための備え

避難所にある備蓄品は、種類や数に限りがあります。いざというときにすぐに持ち出せるように「非常用持ち出し品」を人数分用意しておきましょう。

非常持ち出し袋

- 貴重品類(通帳・印鑑・身分証など)
- 飲料水  非常食  衣類  軍手
- タオル  モバイルバッテリー(充電器)
- 常備薬  救急セット  マスク など



- ヘルメット  雨具(レインコート)  運動靴

どのタイミングで避難する？  
警戒レベルごとの行動

それぞれの警戒レベルに合わせて、早めの避難行動を心掛けましょう。

警戒レベル	避難情報	市民の皆さんがとるべき行動
5	レベル5 特別警報 緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~		
4	レベル4 危険警報 避難指示	危険な場所から全員避難
3	レベル3 警報 高齢者等避難	高齢者や障害のある人など避難に時間を要する人やその支援者は避難を開始
2	レベル2 注意報	ハザードマップなどにより自らの避難行動を確認
1	レベル1 早期注意情報	災害への心構えを高める

**!** 避難指示の発令後、すぐに全ての避難所が開設されるわけではありません。市から発信される開設状況を確認してから避難してください

その情報は合っている？  
正しい避難情報などの取得を

いざという時に慌てないために、この機会にご登録ください

市公式SNS



メール配信サービス

事前に登録したメールアドレスに狭山市の防災行政無線情報、気象情報などが届きます。



◇ 防災行政無線

災害時に避難情報や避難所の開設情報などを放送します。放送内容は電話やメール配信サービス、市公式ホームページで確認できます。



→ 防災行政無線音声自動応答サービス  
直近に放送した内容を聞くことができます。

☎ 0120-81-3804

◇ 気象庁ホームページ

気象警報の発表状況や雨雲の動き、台風の進路予測などが確認できます。



→ キキクル(危険度分布)

災害ごと(土砂災害・浸水害・洪水災害)に危険度の高まりを地図上で確認できます。



もしもの時にあなたは行動できますか？



# 今から備える風水害対策

これからの時季は、台風や豪雨による風水害が発生しやすくなります。風水害はあらかじめ予測しやすく、事前に備えることで被害を抑えることができるため、日頃からの備えが大切です。いつ災害が発生しても慌てず対応できるように、避難行動の確認や避難生活に備えた備蓄品などの準備をしておきましょう。

## あなたがとるべき行動は？ 避難行動判定フローで確認

水害ハザードマップでは、自宅がある場所の水害リスクを確認することができます。  
家がある場所に色は塗られていますか？

※地区センターなどでも閲覧可

はい  
(水害リスクがある)

いいえ  
(水害リスクがない)

**洪水による浸水が想定される**

自宅の部屋は想定される浸水の深さより高い位置にありますか？  
浸水の深さ

- 5.0~10.0m 未満  
3階以上~4階軒下浸水
- 3.0~5.0m 未満  
2階床上~軒下浸水
- 0.5~3.0m 未満  
1階床上~軒下浸水
- 0.5m 未満  
1階床下浸水

**土砂災害・河岸浸食の恐れがある**

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)で塗られている

必ずしも避難所へ行くことだけが避難ではありません。自宅が浸水や土砂災害の危険区域外であれば、自宅で安全を確保しましょう。

安全な場所に住んでいる身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

安全な親戚や知人宅に避難

いいえ

市が指定する指定緊急避難場所に避難

### 屋内安全確保(在宅避難)

次の3つの要件を満たせば自宅に留まることが可能です

- 家屋が倒壊・崩落する恐れの高い区域に入っていない
- 浸水する深さよりも高いところに避難できる
- 水が引くまで我慢でき、飲料水や食糧などの備えが十分にある

